

女性展望カフェ

近代の歪みを気づかせる優しさ —石牟礼道子さん



講師

じつかわ ゆうた
実川 悠太さん [認定NPO法人 水俣フォーラム理事長]
石牟礼道子資料保存会(熊本) 理事

講師メッセージ

2月10日に亡くなった石牟礼道子^{いしむれ}さんは、名作『苦海浄土』3部作の著者として、また水俣病の患者さんとともにあり続けた人として広く知られています。

しかしそれだけでは、その「人と仕事」の、他に類を見ない貴重さ、世界文学たり得る普遍性は、まったく言い表せていません。当日はいくつかの代表作の中の名文を味わいながら、現代を生きる私たちにとって、石牟礼さんが描き続けてきたことの意味を考えます。



プロフィール



1954年 東京都新宿区に生まれる。

72年 水俣病患者支援運動の高校生グループに参加する。

77年 不知火海総合学術調査団(団長:色川大吉東京経済大学教授)のフォロースタッフとして同研究会に参加。

82年 東京・水俣病研究会(代表:後藤孝典弁護士)の調査研究員となる。

88年 水俣病初のミュージアム「水俣病歴史考証館」開館のための展示制作スタッフとなる。

94年 水俣・東京展実行委員会の発足により事務局長となる。

97年 同実行委員会の改組改称に伴い、水俣フォーラムの事務局長となる。

2006年 中央大学法学部の兼任講師として「総合講座MINAMATA」を通常担当(～2010年度)。

15年 水俣フォーラムの理事長となる。

【おもな編著】

▼編著『水俣病自主交渉川本裁判資料集』(1981年、現代ジャーナリズム出版会) 『グラフィック・ドキュメント スモン』(1990年、日本評論社)

▼共編『水俣病の現在—新装版—ユージン・スミス写真集付録』(1991年、三一書房) 『水俣展 MINAMATA Exhibition』(1999年、水俣フォーラム) 『証言 水俣病』(東原彬編、2000年、岩波新書) 『僕が写した愛しい水俣』(塩田武史、2008年、岩波書店) 『水俣病図書目録』第1版(2017年、水俣フォーラム)

▼著作「水俣病問題—事件史認識と現在」(2002年、高橋哲哉編『歴史認識論争』所収、作品社) 「運動体としての『水俣展』」(2003年、『歴史・災害・人間 下巻』所収、歴史民俗博物館振興会) 「案内・水俣病の表現」(2003年、『公衆衛生』2～12月号所収(全11回)、医学書院) 「また お供させて下さい」(2004年、『石牟礼道子全集不知火・月報1』所収、藤原書店) 「合理性、豊かさを問う—水俣病展に寄せて」(2017年、毎日新聞(西部版文化欄、10月15日)) 「水俣病患者・吉永理巴子さんの言葉」(2018年、『3.11を心に刻んで2018』所収、岩波書店)

日時 2018年4月5日(木)13:30～15:30 **会場** 婦選会館

■ 定員 約30名(受付先着順)

■ 参加費 1,620円(税込)、本誌読者及び特別維持員は1,500円(税込)

■ アクセス JR線/代々木駅北口、新宿駅南口下車徒歩約7分、小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分
地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分

お申込み、お問い合わせは下記まで

主催: (公財) 市川房枝記念会女性と政治センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 TEL: 03-3370-0238 FAX: 03-5388-4633
E-mail: fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL: http://www.ichikawa-fusae.or.jp